

第2回 刈谷市都市計画マスタープラン・緑の基本計画策定委員会 議事録

1 日 時

令和元年7月19日（金）午後3時00分～4時00分

2 場 所

刈谷市役所5階 502会議室

3 出席委員 16名

河内利夫、加藤保広、高井智幸、成瀬友晃、吉岡実（代理：久松勇輝）、正木卓、早川孝二、深谷晴紀、吉田永子、加藤京子、近藤真理、三浦光世、片山貴視（代理：伊藤俊司）、小嶋幸則（代理：作石裕介）、稲垣政行

4 欠席委員 1名

磯部友彦

5 事務局

中村課長、小川係長、林主任主査、稲岡主事、田中技師

6 傍聴者

1名

7 公開・非公開の別

公開

8 議題

- (1) 第3次刈谷市緑の基本計画の骨子(案)
- (2) 第3次刈谷市緑の基本計画策定スケジュール

質疑

《議題（1）について》

【委員】

愛知県広域緑地計画に「地域の特性を活かした緑のまちづくりの推進」として、刈谷城復元の取組を推進する旨が記載されている。資料編 P.14-15 の刈谷市中心市街地まちづくり基本計画にも、刈谷城をシンボルとした亀城公園を核とした歴史まちづくりについて記載されている。また、先ほどの都市マスタープランでも、亀城公園の再整備が挙げられていたので、緑の基本計画にも、刈谷城の復元を初めとした亀城公園についてしっかりと記載して、併せて事業の方も推進していただけたら良いと思う。

【事務局】

今回、「つくる緑」として方針を骨子(案)に示しているので、次回具体的な内容を示す際にも施策の検討をしていく。

(資料 2-1 計画の骨子(案)-視点 2「安全」)

【委員】

公園内の遊具や施設の老朽化等、平時の安全性については記載されているが、災害時については記載されていない。公園利用者の災害時の避難方法等に関する安全対策についても、組み込んでい

くと良いと思う。フローラルガーデンよさみでも、公園管理会社と一緒に災害時の避難方法について話し合っている。

【事務局】

防災計画との兼ね合いもあるが、「まもる緑」として避難場所の確保についても課題として設定しているので、ご意見を踏まえて具体的な施策内容を検討していく。

【委員】

民間活力という言葉があるが、民間は行政以外を指している、活力は人やお金を指している等、どういった思いがあるのか聞かせてほしい。

【事務局】

民間活力は、刈谷市の取り組みでも行っている指定管理のイメージである。実際に、民間企業の方々にも参入していただいて、公園管理を行っている。例えば、フローラルガーデンよさみや岩ヶ池公園でもイベントを実施する等、利用者の多様化するニーズに対応するような取り組みがなされている。そのような取り組みを、必要性和効果を見据えながら他の公園でも行っていきたいということである。また、公園内に設置する民間施設が得られる収益の一部を公園整備に投入してもらえる制度が、法改正によって新たに設けられている。費用面でも民間企業と協力して、公園の再整備等を行い、最小限の投資で最大限の効果を得られることが出来るようになってきているので、民間活力を方針として位置づけたいと考えている。

【委員】

活用について2点、考えていただきたい。1つ目は、河川の堤防をサイクリングロードのように整備して、市民が使えるように考えて欲しい。2つ目は、資料に「緑のみち」とあるが、例えば桜並木やハナミズキの並木等、通りによって特色のある木を植えて整備してほしい。

【事務局】

「たかめる緑」として方針を示しており、次回の委員会で具体的な話になるため、参考にして検討していく。

(資料 2-2 P.2-7 グリーンインフラの取り組みについて)

【委員】

刈谷市の場合は、河川付近が液状化や浸水被害等の災害を受けやすい。国土交通省も、グリーンインフラについて動いているので、特別な意識をした方が良いと思う。刈谷市の緑については、拠点と河川を上手くつないで、災害にも安全で、かつ市民生活にも良いものにしていければと思う。

【事務局】

ご意見を踏まえ、今後検討していく。

《議題（2）について》

意見なし。

以 上